

現庁舎の議場最後の定例会 25年度決算を認定



平成25年度八幡平市一般会計歳入歳出決算認定については、賛成多数で認定
(9月30日・第3回定例会最終日)

平成26年八幡平市議会第3回定例会（9月定例会）を9月12日から30日までの19日間、市議会議場で開催しました。今回の定例会では、12人が一般質問をしたほか、平成25年度八幡平市一般会計をはじめとする9会計の決算などの全39議案を審議しました（うち1件は撤回）。ここでは、現庁舎の議場での最後の定例会となった9月定例会の主な内容を紹介します（金額はそれぞれ1万円未満を切り捨て）。

原案可決

●八幡平市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
家庭的保育事業などの認可を市で行うに当たり、設備と運営の基準を定めようとするものです。

●八幡平市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
保育所や幼稚園などの施設と家庭的保育事業などの特定地域型保育事業の運営の基準を定めようとするものです。

●八幡平市児童保育クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例
児童保育クラブの設備と運営に関する基準を定めるものです。

●八幡平市教育・保育給付の支給認定に関する条例
子どもの教育・保育給付の支給要件と保育の必要性の認定基準を定めようとするものです。

●八幡平市税条例の一部を改正する条例
10月1日から法人市民税割の税率を12・3%（標準税率）から12・1%（制限税率）に、軽自動車税は、来年4月1日から四輪以上の家用の軽自動車年額7200円から10800円（新車）などに改正しようとするものです。

●軽自動車は生活必需品で、生活防衛のために軽自動車にしているのになぜ増税か。
軽自動車は生活必需品で、生活防衛のために軽自動車にしているのになぜ増税か。

請願・陳情

●産業建設常任委員会が審査を求めた請願（請願者Ⅱ農産物振興会）
農産物振興会（会長・久保田彰孝） 備蓄米買入れをはじめ、政府の責任で緊急に過剰米処理を行うことを求める内容
▼結果 採択すべきもの
▼本会議審議結果 採択

●総務常任委員会が審査を求めた請願（請願者Ⅱ消費税率引き上げ法案の附則）
藤沢光一 消費税率10%引き上げの中止を求める内容
▼結果 不採択とすべきもの
▼本会議審議結果 不採択

●賛成討論 米田定男議員
消費税率引き上げ法案の附則には、経済状況など勘案して増税するかどうかを決めるとある。個人消費の落ち込みや実質賃金の減少、年金の引き下げなどの状況で、さらなる増税には住民の暮らしが耐えられない。

議員提案

●政府による緊急の過剰米処理を求める意見書（提出者Ⅱ産業建設常任委員長）
※このほか、教育民生常任委員長から提出された意見書6件も原案のとおり可決し、意見書は国など提出しました。

●八幡平市議会改革特別委員会設置について（提出者Ⅱ議会運営委員長）
議会基本条例策定と議会改革の検討を行うために、議会改革特別委員会（定数7人）を設置しようとするもの
▼本会議審議結果 原案可決

●財産の取得に関し議決を求めることについて
新庁舎備品一式（1億648万円、盛岡市・株橋市物産）を取得しようとするものです。

●教育民生常任委員会が審査を求めた請願（請願者Ⅱ被災者の医療費窓口負担の免除継続を求める陳情）
被災者の医療費窓口負担の免除継続を求める陳情（陳情者Ⅱ岩手県保険医協会会長・南部淑文） 被災者の医療費窓口負担免除の継続と、被災者の社会保険加入者の同負担免除の復活を求める内容
▼結果 採択すべきもの
▼本会議審議結果 採択

議員名	議案名																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第6号	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○=賛成、●=反対。工藤直道議長は採決には加わりません。

討 論

■一般会計

反対 米田定男議員

新庁舎建設には反対であり、決算で本体工事費だけで約11億円が計上された。また、土地開発基金5億円は長期間運用がない。そして、都市計画道路大更駅前線調査設計業務が約8,400万円と巨額でありながら、随意契約で業者が決まったことから反対する。

賛成 小野寺昭一議員

市税は2年連続増で、実質収支は約4億円の黒字となった。また、ソフト・ハード両面での施策の展開などは評価される。今後も市域の均等ある発展、市民の一体感の醸成への取り組みなど、市民の負託に応える市政運営を期待し、賛成する。

■国民健康保険特別会計(事業勘定)

反対 高橋悦郎議員

県内14市で一世帯当たりの国保税額は3番目に高いにもかかわらず、25年度は基金に約1億3,000万円積み立て、一般会計に約8,000万円を戻しても約1億7,000万円の黒字だった。黒字分はできる限り加入者に還元すべき必要があることから反対する。

各種指標が示す財政健全度

第3回定例会では、25年度決算に基づく市の健全化判断比率と資金不足比率が報告され、いずれも基準を下回りました。

- ①実質赤字比率 標準財政規模(123億847万円)に対する一般会計などの赤字の割合で、実質赤字なので、該当しません。
- ②連結実質赤字比率 標準財政規模に対する企業会計など全会計の赤字や資金不足額の割合で、実質赤字や資金不足の会計はないので、該当しません。
- ③実質公債費比率 標準財政規模に対する地方債の償還金の割合で、11.5%(前年度比0.7%減)です。
- ④将来負担比率 標準財政規模に対する一般会計など将来負担すべき実質的な負債の割合で、8.1%(前年度比1.7%増)です。
- ⑤資金不足比率 水道など公営事業の資金不足額の割合で、黒字決算であるため、該当しません。

■平成25年度各会計の決算額(金額は1万円未満四捨五入)

会計名	収入額	支出額		
一般会計	210億7,351万円	202億3,374万円		
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	39億2,650万円	37億5,171万円	
	後期高齢者医療	2億3,726万円	2億3,523万円	
	国民健康保険(診療施設勘定)	3億 327万円	2億8,562万円	
	公共下水道事業	6億1,647万円	5億9,714万円	
	農業集落排水事業	6億8,006万円	6億5,766万円	
企業会計	浄化槽事業	7,492万円	6,599万円	
	西根病院事業	収益的収支	6億7,956万円	7億2,580万円
		資本的収支	1,728万円	2,266万円
	水道事業	収益的収支	5億 395万円	4億5,183万円
資本的収支		2億2,722万円	3億8,162万円	

産業建設分科会

■一般会計歳入

震災等緊急雇用対応事業費補助金約1億1300万円は、どのような事業の補助か。
答 P Rラジオ番組制作や観光誘客など5事業で、地元雇用は16人だった。

■一般会計歳出

農作物災害復旧対策事業費補助金の農作物の種類は。答 ほうれんそうやりんどうのほか、ネギやキャベツ、アスパラガスなどで、全部で2450アールを復旧した。

畜産業費が当初予算より約7400万円減額となった要因は何か。
答 いわて型牧草地再生対策事業の利用者が見込みより少なかったこと、検査した結果、利用自粛となる牧草地の焼却処理の対象とならなかったためである。

有害鳥獣捕獲業務委託の方法は。
答 捕獲とパトロールを含めて一括で委託している。
問 昨年度の放牧中の事故死の頭数は。
答 七時雨牧野で1頭、上坊牧野で1頭あった。

企業立地促進業務補助金の内容は。
答 ニュートン(株)が製造ラインを増やしたものに對して補助した。
問 除雪業務の直営と委託の捉え方は。
答 雪の多い安代地区は車道の出勤回数が多いため、委託した場合、経費が3倍以上掛かる積算となる。委託は雪の少ない地区でと捉えている。

■西根病院事業会計

水質検査の状況は。
答 原水は全39項目を年1回、指標菌検査を毎月行っている。

総 括

■一般会計

住宅リフォーム事業の経済効果を止めないで続けるべきではないか。
答 下水道接続工事の部分は続けていくとともに、定住化促進には新築の工事費用の支援で取り組む。
問 来年度、農業振興地域整備計画策定にどのように取り組むか。
答 総合計画後期基本計画では第1次産業の生産力向上を重点施策に掲げており、所得向上に向けて実態に合った計画づくりをする。

24年度の県学習定着度状況調査は、県平均より下回っていたが、昨年度1教科で県平均を上回った要因は。
答 昨年度から小学校と中学校の連携について大きく取り組んできた。

西根病院事業会計
医師充足率に不足はない中、医業収益の減収が続いている。この結果をどのような組織で検討、判断しているか。
答 院長や看護師長、事務局長で月1回の代表者会議で検討し、院内に周知しながら進めている。

総務分科会

■一般会計歳入

土地開発基金5億円が長期運用されていない。基金規模を縮小すべきでないか。
答 企業誘致の用地確保のためであるが進んでいない。次期市総合計画策定時に見直しが必要であると考える。

■一般会計歳出

選挙運営公営費負担金の利用状況は。
答 昨年度は市長選挙分であり、4月の市議会議員選挙では、立候補者24人中23人が利用した。

協働によるまちづくり事業のうち、NPO法人が実施した事業内容は。
答 七時雨いきいきネットワークが学童保育クラブで花壇整備を実施した。
問 コミュニティバスの運行をどのように評価しているか。
答 西根・松尾地区は結構利用者がある。新庁舎開庁後は路線変更し、利用改善に努めるとともに、市道でのフリー乗降の周知をしていきたい。

盛岡地区広域消防組合負担金の算定基準は。
答 人口や消防署の人員体制などを基準としている。

教育民生分科会

■一般会計歳入

ひとり親家庭へ医療費助成のほかに、どのような助成をしているか。
答 市では保育料を軽減している。

■一般会計歳出

防犯灯整備工事で予算額に対し、不用額が多い理由は。
答 毎年10基ほど見込んで予算化しているが、昨年度整備したのは5基で、要望を受けてから工事をするため、補正は行わなかったものである。
問 緊急通報体制等整備事業の実際の利用状況は。
答 救急車を呼んでほしいという通報14件のうち、実際に出動したのは7件だった。

市内の自殺者の状況は。
問 昨年度が8人、24年度は13人、23年度は8人である。
問 予防費の不用額が約890万もある要因は何か。
答 成人の風しんの予防接種を1500人分子算化したのが、受けたのは49人だった。

昨年度の学校適正配置検討委員会の検討状況は。
答 具体的な審議は本年度からで、対象となる学校という議論には至っていない。

決算特別委員会



決算特別委員会(9月18日)

一般会計歳出総額は202億3,374万円

決算特別委員会(高橋守委員長)を9月18、19、22、24、25、26日に市議会議事堂で開催しました。同委員会は、議長と議会選出監査委員を除く議員20人で構成し、今回は総務、教育民生、産業建設の分科会を設置。分担して平成25年度一般会計決算、6特別会計、2企業会計を審査し、全て原案のとおり認定することに決定しました。(9月30日の本会議で一般会計と国民健康保険特別会計(事業勘定)は賛成多数、その他は全会一致で原案認定)。ここでは、決算特別委員会の主な質疑などを紹介します。